

はばたき

橋北小学校
学校だより
No. 24 (学調特別号)
H30. 10. 2

4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年生対象）について、本校の子どもたちの学力の傾向と特徴、並びに課題とその改善策等についてお知らせします。

① 学力調査にみられる傾向や特徴

調査結果をもとにして、各教科・項目のプラス面や課題となる面で顕著なものをあげました。

② 学習や生活の状況（児童質問紙回答から）

学習状況や活動の様子の結果をもとに、日々の学習課題の改善・克服のためにどのようにしていく必要があるのかをあげました。

学力・学習状況調査では、その結果から、個々の児童のどこに課題があるのかをしっかりととらえ、今後の取組を進めることが何よりも大切であると考えております。このことを踏まえながら本校では、めあてを明確にし、「わかった」「できた」などの声が聞こえるような授業づくりに努めてまいります。また、子どもの学力は、学校での授業はもちろんですが、ご家庭での学習が相まってこそより一層向上します。ご協力をお願いいたします。

なお、この調査によって測定できるのは「学力の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。



1 学力調査からみられる傾向や特徴（○プラス面 ●課題となる面）

【国語】

全体的な傾向

「読むこと」の領域においては、知識・活用ともに全国平均を上回る結果となりました。「話すこと・聞くこと」の領域については、活用する力に弱さがみられるものの、基礎的な知識は全国平均並みです。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域についての知識は、ほぼ全国と同じでした。「書くこと」の領域では、知識に弱さがみられましたが、身につけている知識を活用して書く力はついています。

具体的な特徴



○物語文においては、登場人物の心情について、情景描写を基に捉える力がついています。

○相手や場面に応じた適切な敬語の使い方がわかっています。

○目的や意図に応じた文章全体のとらえはできています。

●既習漢字の活用に課題がみられます。

●相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして、考えをまとめる力に弱さがみられます。

●提示された条件や字数に応じて文書をまとめて書く力に課題がみられます。

【学校では】

- 漢字の定着や話す・聞く力をつけるため、引き続き朝の学習（さわやかタイム）の取り組みをすすめるとともに、児童の実態や学習単元に合った内容の工夫を心がける。
- ペアやグループでの話し合い活動を通して、友だちの意見を自分の考えと比べながら聴いたり、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫したりする力をつける。

・説明的文章で身に付けた力を、「算数で解き方を説明する」、「理科の観察や実験の結果をまとめる」、「社会科で調べたことを整理してまとめる」など、他教科においても活用する学習を積極的に取り入れる。

・条件や字数を意識した文章を書く力を育てる。

【ご家庭でも】

☆お子様のノートなどをみていただき、これまでに学んだ漢字が使われているかをときどき気にしてください。

☆単語ではなく、文章で会話ができるように心がけてあげてください。

☆学習した後は、やったところを見直す習慣がつけられるようお声かけください。

【算数】

全体的な特徴

「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4つの領域で知識・活用ともに全国平均を下回りました。しかしながら、活用では、「数量や図形についての知識・理解」について全国平均を大きく上回りました。問題形式では、短答式、記述式に比べて選択式の問題のほうが強いという結果が得られました。



具体的な特徴

○異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合を比べる問題は、全国と比べて非常によくできています。実生活の中で体験したり経験したりしたことが活かされていると考えられます。

○円周率を求める公式は定着しています。円周率の意味について理解できています。

○折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができています。算数だけでなく、社会や理科などの学習の中で触れる機会が多いことが定着につながっていると考えられます。

○図形の名前とその特徴についての理解ができています。

●問題を図や数直線に表して考える力に弱さがみられます。

●分度器を用いて角の大きさを求めたり、目盛りを正しく読んだりすることに課題がみられます。

●空間の中にあるものの位置を表現することに課題がみられます。



【学校では】

☆四則計算の定着をめざして、計算プリントやドリル学習を取り入れ、児童のつまずきに合わせて、アドバイスをしていきます。

☆図や数直線などを使って問題を考える活動を多く取り入れて、それを活用できる力をつけていきます。また、どの教科においても自分の考えや思いを絵や図などで表現する活動を取り入れていきます。

☆分度器やコンパスなどの用具を日常生活の中でも使う場面を多く設定し、正確に速く問題を解けるように復習していきます。

【ご家庭でも】

☆日常生活の中で、買い物、同じ数ずつ分ける、何倍にする、割合など、算数で学習したことを活用する場面がたくさんあります。生活の中に「算数」が使われていることに気づかせてあげてください。

【理科】

全体的な特徴

「物質」「エネルギー」「生命」「地球」の全領域で、全国平均を下回りました。特に、「物質」「エネルギー」「地球」に関する区分で大きく下回りました。「自然事象についての知識・理解」は全国平均並みですが、「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」「観察・実験の技能」に大きな弱みがみられました。また、問題の後半になるほど、無回答率が非常に高くなっています。

具体的な特徴

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念が理解できています。
- 流れる水の働きについて、実験結果をもとに分析して考察したり、その結果を記述したりする力に弱さがみられます。
- 長文の問題やデータを読み取る力に課題がみられます。
- 別の問題に先の実験結果を適用して考える力に弱さがみられます。

【学校では】

- ☆実験を多く取り入れ、予想、予想に基づく実験の構想、実験、結果の分析と考察の時間を大切にしていきます。
- ☆学習して身に付けた知識を実際の自然や日常生活などにあてはめてとらえたり、用いることができる力をつけていきます。
- ☆科学的な言葉や概念をしっかりと定着させていきます。

【ご家庭でも】

- ☆理科の知識は、生活の中で身につくことがたくさんあります。自然や天体に触れる機会を増やしたり、家事や日曜大工などのお手伝いの時間を設けたりするなど、ぜひ、たくさんの経験をさせてあげてください。お子さんが不思議に思ったことや疑問に答えてあげたり、興味を抱いたことを一緒に調べたりすることもよいかと思えます。

2 学習や生活の状況（全国学力・学習状況調査の児童質問紙回答から）

学習について

- ほとんどの児童が「算数の勉強は大切」「将来、社会に出たときに役に立つ」と考えています。
- 算数の問題の解き方が分からないときに、諦めずにいろいろな方法を考えたり、学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えたりしている児童がほとんどです。また、算数の公式や決まりの意味を理解しようとしたり、工夫してノートにまとめたり、もっと簡単に解く方法がないか考えたりなど、算数に取り組む意欲は非常に高いです。
- 理科の授業で、観察や実験の学習を全国に比べて非常に多く行っています。その結果、予想もとに観察や実験を行い、結果から分かったことを考え、その考えを説明したり、発表したりしようとする児童が全国に比べて非常に多くなっています。



- 問題の解決に向けて自分で考えたり、自分の考えをうまく伝えるため資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表したり、話し合い活動の中で自分の考えを深めたり広げたりすることができていると感じている児童が全国に比べて非常に多いです。問題解決学習に取り組んできた成果ではないかと考えます。

- ☆学習に対して前向きに努力しようとする姿がみられます。また、学習して身に付けた力を活用できていると感じています。活用の幅を広げるために、基礎的な力の定着を目指していきます。

☆話し合い活動の時間を確保し、友だちの意見を聞くことで自分の考えのまとめ方のヒントを得たり、自分の考えを広め、深める経験を積み重ねたりすることで、さらに自信を持たせていきたいと思えます。

☆国語の学習に限らず、条件や字数を設定した中で、自分の考えをわかりやすくまとめる活動を取り入れていきます。

自分自身について

○ほとんどの児童が、「自分にはよいところがある」と答えており、自尊感情の高さがみられます。また、全員が「先生に認められている」と答えており、教師とのつながりの強さがみられました。

☆自分や友だちの「良さ」を認め合う機会を増やすことで、自分のことを好きになったり、自分自身を認めたりする気持ちを育てていきます。そして、将来への夢や希望が持てるよう、さらにキャリア教育をすすめていきたいと思えます。

家庭学習について

○全員が学校の宿題をしており、授業の予習・復習をしている児童が全国に比べて多くなっています。

●平日の放課後あるいは週末に家庭学習や読書に使う時間は、全国に比べて非常に少ないです。

☆自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童もいます。家庭学習の内容の充実に努めながら、学習時間を増やしていくよう声掛けをお願いします。

☆さらに力を伸ばしていくためには、学校で出された課題にとどまらず、自分で学習課題を選んで学習をすすめる自主勉強に積極的に取り組んでほしいと思えます。

☆「家庭読書」や「生活習慣チェック」の時だけでなく、普段からテレビやゲームの時間を減らすためにも、家庭で毎日読書に取り組む時間を設定されるとよいかと思えます。

☆全国的に、家庭における学習や読書の時間が学力に反映されているという結果が出ています。ご家庭で意識して取り組んでいただくことが大切かと思えます。

生活について

○全員が「きまりを守る」「いじめはどんなことがあってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と考えています

○全員が朝食・就寝時刻・宿題などの生活習慣がしっかりと身につけています。

○5年生までに地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会を多くとってきたため、地域や社会のことに対して非常に高い関心を持っています。

●ニュースを見たり、新聞を読んだりする児童の割合は、全国に比べて非常に低いという結果がみられました。

●スポーツをする時間がテレビやゲーム・インターネットをする時間の3分の1となっています。全国に比べてもスポーツをする時間の割合が低くなっています。



☆テレビやインターネットやゲームをする時間は、全国に比べてやや少ないですが、スポーツをする時間は非常に少なくなっています。週に1回ノーテレビ・ノーゲーム・ノー携帯デーを設定し、読書やスポーツやお手伝いなどの時間を増やすのもよいのではないのでしょうか。

☆社会の出来事に関心を持ち、知識を増やすためにニュースに触れる機会やニュースを話題に会話をする時間を持てるとうよいかと思えます。そのために、新聞を読むことはとてもよいと思えます。